

5 学年 1 組 国語科学習指導案

児童 男子16名 女子15名 計31名
指導者 川村 千恵子

- 1 単元名 説明のしかたの工夫を見つけ、話し合おう
学習材 「天気を予想する」 武田 康男（光村図書5年）

《付けたい力》

- ◎ 筆者が伝えたいこと、論の進め方、図表などの活用について考えをまとめて話し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。（読ウ・オ）

筆者の説明の工夫について、考えをまとめて話し合う。

2 単元について

(1) 児童について

児童は、「C読むこと」の指導事項ウとオの力を付けることをねらった単元としては、4年生「アップとルーズで伝える」で、写真と文章を対応させながら読み説明の工夫について考えたり、「ウナギのなぞを追って」で、写真・図表・地図などと対応させながら、段落同士のつながりに気をつけて読んだりすることを経験してきている。また、5年生「生き物は円柱形」で、文章の書かれ方や文章構成に着目して要旨を捉える学習をしてきている。

今までの学習を通して、児童は、文章からキーワードを見つけたり、段落の中心になる文や段落相互の関係を捉え、文章全体の構成を考えながら読んだりするようになってきている。しかし、自分の考えを持つことを苦手と感じている児童もおり、友達と考えを比較して自分の考えを明確にしたり変えたりすることまでには至っていないと考える。筆者の意図や思考を想定しながら文章の構成を把握したり、自分の知識や経験などと関係づけながら読んだりすることを通して自分の考えを持ち、友達との交流を通して考えを広げたり深めたりすることができるようにしていきたい。

(2) 学習材について

学習材である「天気を予想する」は、児童にとって身近でありながら、その仕組みはよく知られていない天気予報を題材としている。最初に文章全体を捉える大きな問いがあるのではなく、小さな問いがあって答えがある、それを3回繰り返す構成になっており、問いかけによって読者を引きつけながら筆者の主張へと導く手法がとられている。前半では、科学技術の進歩や国際協力によって支えられていることが科学的データをもとに述べられている。後半では、科学技術の進歩や国際協力によっても予測しづらい現象に触れ、それに対応するための手立てとして、人間の経験や知識の必要性について述べられている。その論の展開には資料が効果的に使われており、筆者の説明の仕方の工夫を考えさせるのに適した学習材である。

(3) 指導について（研究内容との関わり）

① 読む目的意識を持たせるための課題の設定

第一次で学習計画を立てる際に、次の単元で資料を効果的に使って意見文を書くことを伝え、筆者の論の進め方の工夫や、資料を用いた説明の仕方の工夫を見つけることを課題として設定する。

② 自分の考えと比較し、考えを広めたり深めたりするための対話の工夫

筆者が資料を用いて説明した意図や効果について話し合う際には、同じ資料について考えた児童を一緒にして意図的にグループを構成し、自分の考えと比較しながら交流させる。

③ 学びの自覚を促す振り返りの工夫

話し合いを通して、友達の考え方のよさなど気付いたことを振り返らせ、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

3 単元の指導目標

- 題材, 筆者の考え, 説明の仕方に興味を持って読もうとする。 【関心・意欲・態度】
- ◎ 筆者が伝えたいこと, 論の進め方, 図表などの活用について考えをまとめて話し合い, 自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 【読むこと】
- 文章の中での語句と語句との関係を理解することができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・ 題材, 筆者の考え, 説明の仕方に興味を持って読もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者が事例, 理由やその根拠として挙げている事実を読み取っている。(読む) ・ 筆者の説明の工夫やその効果が現れている部分に気づき, 読み取っている。(読む) ・ 筆者の主張や説明の仕方の工夫について友達と共有し, 自分の考えを広げたり深めたりしている。(読オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語と語の関係に気をつけることで, 文の意味が捉えやすくなることに気付いている。(言イ(オ))

5 単元の指導計画・評価規準 (全6時間)

次	学 習 活 動	○主な指導上の留意点 ◆評価規準 <評価方法>
一	① 「天気を予想する」を読んで感想を発表し, 単元の学習計画を立てて, 学習の見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 天気に関わる経験, 天気予報について知っていること, などを話し合う。 ・ 初めて知ったこと, 興味をもったことなどについて感想を書き, 交流する。 ・ 単元の学習課題を設定し, 見通しをもつ。 	○ 初発の感想から筆者の表現の工夫について取り上げ, 単元の学習課題につなげる。 ○ 次の単元で資料を用いて意見文を書くことを伝え, 学習のつながりを意識させる。 ◆ 天気や天気予報について, 自分の経験や知識を進んで話し, 興味を持って文章を読んでいる。 【関・意・態】 <態度・発言・ノート>
二	② 三つの問いと答えを書き出し整理する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 三つの問いと答え, 理由, 根拠を見つけ, 内容を読み取る。 	○ 問いの文, 答えの文の基本的な文末表現を手がかりにして見つけさせる。 ○ 既習の説明文の文章構成との違いを見つけさせ, 筆者の意図とその効果について考えさせる。 ◆ 三つの問いと答えを見つけ, それぞれの関連を読み取っている。 【読むウ】 <学習シート>
	③ 三つの問いと答えの関連について考え, 構成と筆者の説明の仕方の工夫を読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 三つの問いと答えが繰り返される文章構成にした意図と, その効果について考える。 	○ P148「言葉」を確認し, 語と語の関係に気をつけて読ませる。 ◆ 語と語のまとまりや接続の仕方について理解している。【言イ(オ)】 <発表>
	④ 筆者が表・写真・図・グラフを使う意図や, それらが読者に与える効果について考える。 <本時> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料と教材文を対応させる。 ・ 本文のみと資料のあるものを読み比べ, それぞれの資料があるよさについて考える。 	○ 資料と文章を対応させながら確認することで, 資料の効果を読み取らせる。 ○ 資料がないものと読み比べ, 筆者が様々な資料を用いた意図を考える。 ◆ 表・写真・図・グラフの使い方について, 筆者の意図やその効果に気付いている。 【読むウ】 <学習シート>

<p>⑤ 筆者が伝えなかったことや、筆者の説明の仕方について自分の考えを書きまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者が一番伝えなかったことについて考え、書きまとめる。 ・ 筆者の説明の仕方の工夫や効果について振り返り、自分の考えを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1学期の要旨をまとめた学習を想起させ、筆者の考えが強く表れている段落の内容を中心にまとめさせる。 ○ 筆者の説明の仕方の工夫で一番すばらしいと思ったものに絞って書かせる。 ◆ 筆者が伝えなかったこととその根拠となる事実を捉え、説明の仕方の工夫について書きまとめている。【読む】<ノート>
<p>⑥ 筆者が伝えなかったことや、筆者の説明の仕方について考えたことを基に話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 筆者が伝えなかったことや、筆者の説明の仕方について自分の考えを書きまとめたものを基に、友達と話し合う。 ・ 単元の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達の考えと自分の考えとの共通点や相違点に着目させ、考えを深めたり広めたりできるようにする。 ◆ 友達と考えを話し合い、自分の考えを深めたり広げたりしている。 【読む】<ノート・話し合い> ○ P148「たいせつ」で資料を用いた文章の書かれ方を確認し、次単元「グラフや表を用いて書こう」につなげる。

6 本時の指導

(1) 目標

筆者が資料を用いて説明した意図やその効果について捉えることができる。【読む】

(2) 展開

学習活動	・指導上の留意点 ◆評価 <評価方法>
1 学習計画を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 学習計画を基に、単元における本時の位置付けを確認する。
2 本時の学習課題をつかむ。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 筆者は、何でこの写真や図表を使ったのだろうか。 </div>	
3 学習の見通しを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 学習のゴール、学習内容、学習プロセスを確認し、どの子どもも主体的に学習に関わることができるようにする。
4 学習課題を解決する。	<ul style="list-style-type: none"> 資料と教材文を対応させ、言葉と資料を線で結ぶ。 本文のみと資料のあるものを読み比べ、それぞれの資料があるよさについて考える。 考えたい資料を一つ選び、自分の考えを学習シートに記入させる。 同じ資料について考えた友達と考えを交流する。 それぞれの資料の意図や効果について発表し合い、板書にまとめていく。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◆ 筆者が資料を用いて説明した意図やその効果について、気付くことができる。 【読む】 <発言・学習シート> </div>
(1) 資料と教材文の対応関係を確認する。	
(2) それぞれの資料の意図や効果について、自分の考えをもつ。	
(3) グループで考えを交流する。	
(4) 全体で交流する	
(5) 課題に対する自分の考えをまとめる。	
5 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容や学習プロセス、交流のよさなどを振り返り、自分の学びを自覚することができるようにする。
6 次時の学習を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 次時は、これまでの学習をもとに、筆者の伝えたいことや説明の仕方の工夫について自分の考えを書くことを伝え、意欲付けを図る。

(3) 評価

評価規準 <評価方法>	◆ 筆者が様々な資料を用いて説明した意図やその効果について捉えている。 【読む】 <発言・学習シート>
記述例	<ul style="list-style-type: none"> 写真や図があることで、文章だけではわかりにくいものも具体的にイメージすることができる。 グラフは、一目で比較ができる。 表やグラフは、具体的な数値があるのでくわしくわかるし、文章で書かれている内容に納得することができる。 それぞれの資料は、筆者の伝えたいことに合わせて選ばれている。